

第 366 回月例会議事録	安全技術応用研究会	
	承認	記録
	企画運営委員長 保科	企画運営委員 森

◎ 日時：2024年3月15日（金）13時00分～16時35分（ブレイクアウトルーム12時半～17時）

◎ 場所：リモート開催（Zoom）

◎ 出席者：22名（法人会員13名8社、個人会員9名、他0名）

1. 開会挨拶・トピックス紹介、他

13:00～13:10 企画運営委員長 保科 修一 氏

・次回の月例会（4月）対面開催（ハイブリット）について

2. 運営説明「技術情報管理について」

13:10～13:35 企画運営委員長 保科 修一 氏

概要

・安応研が関係する公益情報と機密情報に分けて取り扱いと公開方法について説明
上記について総会で質問された会員様にもご理解いただきました。

3. 技術講演「安全コンポーネント商品紹介と基礎知識」

13:35～14:39 フェニックスコンタクト株式会社（法人会員） 豊田 奨 氏 出口 氏

概要

以下について、フェニックスコンタクト株式会社の会社および商品紹介

- ・薄型セーフティリレーユニット・回転検知用セーフティリレーユニット・プロセスオートメーション用セーフティリレーユニット・セーフティコントローラ・セーフティI/O・非接触セーフティスイッチ・非常停止スイッチについて紹介
- ・サイバーセキュリティ機器等について紹介
- ・IEC62443（産業用制御システム向けサイバーセキュリティ）について説明

4. 討議説明「困りごと相談・議論（災害の振り返り、稼働の意志決定）」

14:50～14:55 企画運営委員長 保科 修一 氏

・概要の説明

5. 事例紹介「機械災害の発生事例の紹介」

14:55～15:22 企画運営委員

・企画運営委員により様々な災害事例を紹介

6. 課題討議「機械に起因する災害・事故の振り返りと活用」および 「許容できないリスクの残留と稼働移行の意志決定」

15:22～16:23 参加者全員

ブレイクアウトルーム：さくら（8名）災害・事故の事例と活用方法について討議する。

- ・生産影響を考え止めたくても止めない
- ・経験がなく非常停止、緊急停止を押せない
- ・止めた際に誉めているか など

ブレイクアウトルーム：あやめ（5名）稼働移行の意志決定のあるべき姿について討議する。

- ・意志決定者が不明確であり率先してやる者も少ない
- ・説明責任と実行責任について など

7. 討議発表「各課題の討議結果の発表（メインルーム）」

16：23～16：35 参加者全員

- ・結論まで至らなかったが、多くの貴重な意見があり活発な討議ができ有意義だった。

8. 閉会挨拶・その他

- ・次回第367回月例会は、4月19日（金）10時00分～16時30分対面+リモートで開催予定。

月例会説明資料：ホームページ内の会員専用ページにて掲載

以上